

# 提 言 書

高知県内の各地域では、地球温暖化の影響により頻発化・激甚化する自然災害や、発生の切迫度が高まる南海トラフ地震への備えを高めるとともに、人流・物流の円滑な移動を確保するため、通常予算に加え、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算を活用し、高規格道路のミッシングリンクの解消や法面对策、老朽化対策など、道路ネットワークの機能強化を推進しています。

また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から、徐々に回復しつつある地域経済の活性化に向けた取り組みを後押しし、さらに、コロナとともに生きる新たな社会の構築に向けて、観光の再生や県産食材の消費回復などに全力で取り組んでいます。

このような中、7月の台風4号では、本県で今年初となる線状降水帯が発生し、県中西部の多くの道路で土砂崩れや路面冠水による通行止めが発生しました。

中土佐町の国道56号では、法面崩壊の発生により現道が寸断される事態となりましたが、並行する四国横断自動車道を利用することで早期に地域間交通が確保され、ダブルネットワークの重要性を再認識いたしました。

国土強靱化の取り組みを加速化し、地域の安全・安心の確保、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興を早期に実現させるため、以下の4項目を提言します。

## 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化

・四国横断自動車道(宿毛和田～宿毛新港)、阿南安芸自動車道(奈半利～安田)

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

一、高規格道路のミッシングリンクの解消、及び暫定二車線区間の四車線化や代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの構築

一、資材価格が高騰する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設することに加え、令和五年度道路関係予算総額の満額確保を図るとともに、補正予算を速やかに成立させること

令和4年11月9日

高知県道路利用者会議 会長 楠瀬 賢一

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 会長 池田 洋光

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。私達は、整備された道路を活用しストック効果をより拡大することで、経済の活性化につなげます。